

【指揮】
瀬山智博

新しい年、ウィーンの薫りと新世界からの鼓動!!

“From the New World”
of the 21st century Concert

21世紀の新世界

© s.yamamoto



【ソプラノ】
端山梨奈
(☆)

J.シュトラウスⅡ

：オペレッタ「こもり」序曲

：オペレッタ「こもり」より“侯爵様、あなたのようなお方は” (☆)

レハール：オペレッタ「微笑みの国」より“君こそ我が心のすべて” (★)

J.シュトラウスⅡ：ワルツ「春の声」op.410 (☆)

レハール

：オペレッタ「ジュディッタ」より“友よ、人生は生きる価値がある” (★)

：オペレッタ「メリー・ウイドウ」より“唇は語らずとも” (☆☆)

ジーツインスキー：ウィーン、わが夢の街 (☆☆)

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 「新世界より」op.95

【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

【テノール】
谷浩一郎
(★)

2022 1/8 (土) 2:00pm開演(1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込) 主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

9/26(日)発売

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00(火曜定休)]

■チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:202-287]

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:52681]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■E+(イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ

検索

携帯サイトは
こちら▶▶▶



<http://abc-ticket.pia.jp/> 24時間・座席選択可能!
入会費・年会費無料。メルマガで優先予約をご案内!

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、<ABCクラシックガイド>のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

- ご来場前に、体調不良(発熱や倦怠感など)および感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、入館をご遠慮ください。
- ご来場の際は、マスク着用の上、咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いします。
- なお、入り口にて検温を実施する場合がございます。37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- 詳しくは、<ABCクラシックガイド>のホームページをご確認ください。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。
※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

“From the New World”
of the 21st century Concert

21世紀の新世界

真っさらな新年の空気の中、2022年の“初感動”に相応しいニューイヤーコンサート!

思わず心が浮き立つウィーンの名曲と、新年の美しい朝靄の彼方から響いてくるような“新世界交響曲”。慣れ親しんでいるはずの旋律ですが、新春の街中を抜けてお越しいただくザ・シンフォニーホールの空間では、きっと皆さまの心にフレッシュな感情を目覚めさせることでしょう。

大阪出身のマエストロ、瀬山智博さんと関西フィルハーモニー管弦楽団はこのシリーズで6回目の共演となり、益々強固な音楽タッグが生まれつつあります。ウィーン在住、オーストリア・ドイツを中心に活動を広げる瀬山さんとのプログラム前半は、そのタクトが本領を発揮するウィーンのリズム!オペラ出演の経験が豊富なソプラノの端山梨奈さんと、ドイツで学んだテノールの谷浩一郎さんの煌めく声と共に楽しみいただきます。

そして後半の不朽の名曲は、ドヴォルザークが新大陸アメリカから故郷を想って書いた曲ですが、彼が初めて触れたアメリカの精神も織り込まれています。作曲家がこの時新鮮に感じた未知の存在との出会いを、年の初めのこの機会に再確認したいものですね。1月8日、心躍るウィーンの調べとオーケストラ・サウンドで晴れやかな新春を!



瀬山智博 [指揮]

大阪府豊中市出身。3歳よりメキシコで音楽教育を受け始め、大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科を卒業。指揮を湯浅勇治、小澤征爾、ファビオ・ルイジなど各氏に師事。2006年イタリアのシエナ・キジアーナ音楽院にてオーケストラ指揮ディプロマを取得。ウィーン国立音楽大学在籍中にはウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、コレペティートルとしても活動。2009年ドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルを務め、同年ウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。オーストリアのブレゲンツ音楽祭、トリノ王立歌劇場にてアシスタント指揮を務める。2016年ドイツのマグデブルグ市立歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)として活動。その他ドイツのデッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。シカゴのゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクールセミファイナリスト、プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。



端山梨奈 [ソプラノ]

大阪音楽大学卒業、京都市立芸術大学大学院を首席で修了。「フィガロの結婚」(指揮:キンポー・イシイ、演出:岩田達宏、主催:びわ湖ホール)スザンナ役でオペラデビュー。「魔笛」夜の女王、「ボエーム」ムゼッタなど多数のオペラに出演。NHK「名曲リサイタル」、「クラシック

倶楽部」などに出演。世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2007」アジア予選ファイナリスト。神戸市混声合唱団ソプラノパートリーダー。



谷浩一郎 [テノール]

ドイツ国立マンハイム音楽大学卒業。在学時、マンハイム国立歌劇場、ハイデルベルク市立歌劇場にてオペラのソリストとして出演。兵庫県立芸術文化センターワンコインコンサートに出演(2000席が発売開始日に即日完売)、2017年年間No.1アーティストに選出される。

その結果を受けて2019年に同センター小ホールにてアンコール・リサイタル「冬の旅」が開催された。この公演も400席が即日完売し、人気の高さを証明した。関西歌劇団理事。音楽創作工房ムジカヴィーヴァ、関西歌劇団オペラ教室、神戸市民文化振興財団、同志社女子大学各講師。



関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2018年公益財団法人化。2020年楽団創立50周年。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年より桂冠名誉指揮者に就任。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。2014年10月よりスタートしたBSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。

オフィシャル・ホームページ <https://www.kansaiphil.jp/>